

メダカが息づく「癒やしの里」づくり — 生物多様性保全機能 —

おこば 尾木場地区めだかの里保全委員会



尾木場地区のメダカの池

尾木場地区では、生ものの生息環境に配慮した水路やため池を整備し、また共同作業によって棚田の保全、ため池等の管理に努めている。

このような地区の環境や積極的な活動を活かし、メダカの観察をしながら「尾木場めだかの里散策＆山菜狩り」「高山ふるさと秋祭り」などイベントや年間を通じた「米づくり体験」を行っている。また、「尾木場棚田めだか米」のブランド化にも取り組んでいる。



ひおき
鹿児島県日置市



高山ふるさと秋まつり

【生物多様性の保全】

「生息環境に配慮した水路やため池の補修、整備を行うことで農業用水を確保すると同時にメダカ等の生きものが住みやすい環境が作られ、減農薬栽培など環境にやさしい米づくりにも取り組んでいる。また、生きものの観察会を通じて、在来種のクロメダカ、マルタニシ、アカハライモリなど珍しい生きものの生息を確認している。

【景観の保全】

共同で農道やため池、石垣の草取りを行い、また耕作放棄地をワラビ畑や梅園として活用。彼岸花、レンゲ、菜の花が季節毎に棚田に色を添え、見物人や写真家が訪れている。

【体験学習と教育、地域社会の振興】

年間を通じた米づくり、メダカをはじめとする田んぼの生きものについて、地域で長年貢献し農村を守り続けた地元住民の個性を活かした「昔話の名人」たちによる学習会など交流に一役買っている。また、交流をきっかけに減農薬栽培に取り組み、消費者や生きものにやさしい米づくりを行っている。



「めだか米」



米づくり体験（田植・稲刈り）



メダカ観察会風景とクロメダカ